

# 令和5年度農福連携研修会資料 [農林水産部農山村振興課]

## 1 取組事業者数（令和5年12月末現在）

県内における農福連携の取組事業者数は、福祉事業者50、農業者32、合計82事業者となっている。（県調べ）

| 地域  | 福祉事業者 | 農業者 | 合計 | 農業に携わる障害者数 |        |
|-----|-------|-----|----|------------|--------|
|     |       |     |    | 農業者に雇用     | 請負での作業 |
| 鹿角  | 0     | 1   | 1  | 1          | 0      |
| 北秋田 | 4     | 3   | 7  | 4          | 0      |
| 山本  | 4     | 3   | 7  | 32         | 3      |
| 秋田  | 14    | 6   | 20 | 2          | 8      |
| 由利  | 7     | 4   | 11 | 4          | 29     |
| 仙北  | 7     | 8   | 15 | 0          | 34     |
| 平鹿  | 7     | 2   | 9  | 3          | 8      |
| 雄勝  | 7     | 5   | 12 | 3          | 19     |
|     | 50    | 32  | 82 | 49         | 101    |

○福祉事業者の内訳  
 うち自ら農業を行う 28事業者  
 農業者から作業を受託 26事業者

○農業者の内訳  
 障害者を直接雇用 12事業者  
 福祉事業者に作業を委託 20事業者

## 2 支援策 [農山漁村振興交付金 (国) ]

### 農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち 農山漁村発イノベーション推進・整備事業（農福連携型）

【令和6年度予算概算決定額 8,389 (9,070) 百万円の内数】

#### <対策のポイント>

農福連携の一層の推進に向け、障害者等の農林水産業に関する技術習得、障害者等に農業体験を提供するユニバーサル農園※の開設、障害者等が作業に携わる生産・加工・販売施設の整備、全国的な展開に向けた普及啓発、都道府県による専門人材育成の取組等を支援します。

※ 農業分野への就業を希望する障害者等に対し、農業体験を提供する農園

#### <事業目標>

農福連携に取り組む主体を新たに創出（3,000件 [令和6年度まで]）

#### <事業の内容>

##### 1. 農山漁村発イノベーション推進事業（農福連携型）

###### ① 農福連携支援事業

障害者等の農林水産業に関する技術習得、作業工程のマニュアル化、ユニバーサル農園の開設、移動式トイレの導入等を支援します。

【事業期間：上限2年間、交付率：定額（簡易整備、高度経営、介護・機能維持の場合は上限150万円、経営支援の場合は上限300万円、作業マニュアルの作成等に取り組む場合は初年度の上限額にそれぞれ40万円加算）】

###### ② 普及啓発・専門人材育成推進対策事業

農福連携の全国的な横展開に向けた取組、農福連携の定着に向けた専門人材の育成等を支援します。

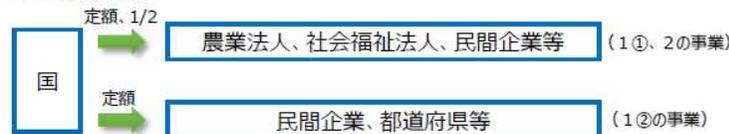
【事業期間：1年間、交付率：定額（上限500万円等）】

##### 2. 農山漁村発イノベーション整備事業（農福連携型）

障害者等が作業に携わる生産施設、ユニバーサル農園施設、安全・衛生面にかかる附帯施設等の整備を支援します。

【事業期間：上限2年間、交付率：1/2（簡易整備の場合は上限200万円、高度経営の場合は上限1,000万円、経営支援の場合は上限2,500万円、介護・機能維持の場合は上限400万円）】

#### <事業の流れ>



#### <事業イメージ>

##### 1. 農山漁村発イノベーション推進事業（農福連携型）

###### ① 農福連携支援事業



農産加工の実践研修 養殖設備修繕・木工技術習得 移動式トイレの導入 ユニバーサル農園の開設

###### ② 普及啓発・専門人材育成推進対策事業



普及啓発に係る取組 人材育成研修

##### 2. 農山漁村発イノベーション整備事業（農福連携型）



農業生産施設（水耕栽培ハウス） 苗木生産施設 養殖施設  
休憩所、トイレの整備 圃地、園路整備 処理加工施設

【お問い合わせ先】 農村振興局都市農村交流課（03-3502-0033）

●公募期間：令和6年2月9日（金）～2月28日（水）（提出先：東北農政局）

### 3 支援策 [未来へつなぐ元気な農山村創造事業 (県)]

## 未来へつなぐ元気な農山村創造事業

農山村地域において、多様な人材の参画のもとで地域資源を生かした地域活性化を目指すプランづくりから、地域特産物のブランド化や地域資源と観光等の他分野との組み合わせによる新ビジネスの創出までを総合的に支援。

#### STEP0:協議会設立

- 農林漁業者に加え、多様な人材（小売業者、観光業者、加工・飲食業者、関係人口など）が参画
- 次世代への継承など取組の持続性も含め、必要な人材が参画

#### (参考)地域づくり活動支援事業

(補助率 定額 上限額300千円(1年目)、150千円(2年目))

- 農地等を活用した交流活動等を通じて、地域の活性化を図る取組を支援
- 未来へつなぐ元気な農山村創造事業の実施に向けたトライアルとしても活用が可能

#### STEP1:元気な農山村創造プラン策定事業 (補助率 1/2(+市町村協賛助成1/2) ※上限300千円、1年間)

- 地域資源を活用した「しごと」を軸とした総合的な地域づくりに関する将来ビジョンを策定
- 策定にあたり、協議会構成員が秋田県農山漁村プロデューサー養成講座「AKITA RISE」を受講

##### 【主な記載事項】

- ( )年後のビジョン
- 取組による効果(「しごと」「活力」の両面から記載)
- 将来ビジョンの達成に向けた取組
- ビジネスの取組目標(取組の内容ごとに複数設定可)



ワークショップの開催



先進地視察



AKITA RISEの受講

#### STEP2:農山村発新ビジネス創出事業 (補助率 1/2(+市町村協賛助成1/12) ※上限2,500千円、2年間)

- 元気な農山村創造プランに基づく、新たなビジネスの創出に必要な取組を支援
- 同プランで設定されたビジネスの取組目標ごとに、1つの事業を実施可能

##### <交流拠点加算>

併せて交流拠点を整備する取組は補助上限額50万円加算

##### 【支援対象となるビジネスの範囲】

##### ① 地域特産物のブランド化

農林水産物等について、2次・3次産業との連携を図るなどして、再生産可能な価格での販路を確保する取組

##### ② 新ビジネス

農地、森林、景観などの地域資源と観光や飲食等の他分野との組み合わせによるビジネス



施設・機械等の整備



試験栽培  
新商品の試作・販売



新ビジネス創出の  
ための施設整備等



マーケティング活動等

##### ①地域特産物のブランド化

##### ②新ビジネス(地域資源×〇〇)

→さらに、しごとや活力の創出に向けた県・国の様々な事業を紹介し、総合的な地域づくりを後押し

※例えば、元気な農山村創造プランを策定していく中で、農用地の保全や生活支援にも取り組んでいく構想がある地域には、農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業(農林水産省)を紹介

●支援対象：地域として取り組む(協議会を組織)ケース  
障害者も地域人材として共に活躍 → 農福連携に応用可能

# 「ノウフク・アワード2023」表彰24団体

No.1 長野県 松川町

株式会社ウィズファーム

- ・障害者の工賃向上をめざして農業法人を設立し、地域の荒廃農地を積極的に借り入れ、地域の中心的な担い手に成長
- ・ノウフクJASの初めての認証事業者として農産物の認知度向上と販路拡大に貢献

グランプリ

No.2 奈良県 奈良市

社会福祉法人青葉仁会

- ・農業のほか、加工業、販売業などの様々な業種の作業を通じて障害者の成長や経済的自立を支援し、40名以上が一般就労に移行
- ・過疎化が進む地域においてカフェ、レストラン、観光農園の運営、地域ホテルの再生、療養の活用など、多角的に事業を展開

グランプリ

No.3 広島県 広島市

広島県立広島特別支援学校

- ・生徒の障害特性ごとに配慮した農作業を指導
- ・近隣の農業高校から技術指導を受けて、学校内の園圃で農業を実施し、地域の高齢者に販売
- ・障害を持つ生徒が、地域の小学校と児童への農業指導を実施

準グランプリ (人を助す)

No.4 福岡県 久留米市

一般社団法人THE CHALLENGED

- ・障害者、ひきこもりの状態にある者、難法者等の多様な人材が活躍できる環境を整備し、10名以上が一般就労に移行
- ・認定農業者として地域最大級の荷き生産者となるとともに、地域の約170件の農家から受託した作業を障害者等が実施

準グランプリ (地域を助す)

No.5 福井県 あわら市

有限会社あわら農楽ファーム

- ・今年に先がけスマート農業を活用した農機連携（障害者がロボット田植機による田植えや、アシスト付コンバインによる刈取り等を実施）を行い、農地面積は85haに拡大
- ・地域農家の農業受託や除草作業を障害者が実施

準グランプリ (未来を助す)

No.6 宮城県 松島町

有限会社F.F磯崎

- ・地域の就労継続支援A型事業所から、約20名の障害者を受け入れ、水稲栽培（約60ha）や牡蠣の養殖を実施

優秀賞

No.7 茨城県 つくば市

NPO法人ユアフィールドつくば

- ・約15haの荒廃農地を再生し、障害者の種別や年齢も様々な約100名の障害者が農作業を実施

優秀賞

No.8 岐阜県 岐阜市

株式会社LSふあーむ

- ・農業や6次産業化製品の製造などの各作業ごとに障害者の中からリーダーを任命しており、障害者が商品開発にも従事

優秀賞

No.9 三重県 松阪市

社会福祉法人まつか福祉会

- ・高収益のいちご栽培や6次産業化などにより、生活介護などの重度障害者を含めた工賃向上を実現。ASIAGAPも取得

優秀賞

No.10 京都府 京都市

株式会社しんやさい

- ・職業訓練により正規雇用ステップアップした障害者が、シヨブコーズの資格を取得し、若手障害者の指導を実施

優秀賞

No.19 東京都 世田谷区

夢育て農園

- ・農作業を通じた知的・発達障害者の認知発達プログラムを提供し、定量的な効果測定も実施

チャレンジ賞

No.22 愛媛県 伊予市

愛媛県立伊予農業高等学校生活科学科食作物班

- ・地域の福祉団体と連携して、障害者や高齢者と共に農作業を実施。地域企業と連携して新商品を開発

チャレンジ賞

No.15 岐阜県 岐阜市

全国農業協同組合連合会岐阜県本部

- ・JA全農の直営農場において、直営雇用した障害者がいちご栽培を実施し、地域のいちご部会にも入会

フレッシュ賞

No.17 宮崎県 高千穂町

株式会社杉本商店

- ・権資専門農園として、原木椎茸の栽培や加工を福祉事業所に委託し、24か国に輸出

フレッシュ賞

No.20 大阪府 高槻市

特定非営利活動法人たかつき

- ・認知症高齢者や要介護高齢者の生きがいづくりや、健康維持、増進に向けた園芸療法を実施

チャレンジ賞

No.23 福岡県 福岡市

一般社団法人社会福祉支援協会

- ・人手不足で廃業寸前であった水産加工業会社の事業を承継し、障害者が担い手として作業に従事

チャレンジ賞

No.11 岡山県 岡山市

株式会社おおもり農園

- ・新規就農後、自ら就労継続支援A型事業所を設立し、障害者に農作業を安定的に担ってもらうことで農地面積を拡大

優秀賞

No.12 大分県 竹田市

社会福祉法人博愛会

- ・農業に加えて、「コミュニティレストラン」の開設、交遊手段を持たない高齢者対象の無料炊飯、地域の祭りの運営等を実施

優秀賞

No.13 北海道 札幌市

株式会社ファーストマインド

- ・JA等と連携した地域の高作業の受託に加え、地域の水割の掃除、車作り、除雪を障害者が実施

フレッシュ賞

No.14 静岡県 浜北市

ひらまつファーム

- ・個人農家として、福祉事業所に作業委託を行うことで、栽培面積の拡大、収益向上を実現

フレッシュ賞

No.16 高知県 安芸市

一般社団法人こうち梓ファーム

- ・障害者、ひきこもりの状態にある者、難法者等を受け入れ農業を実施し、新規就農者も発生

フレッシュ賞

No.18 北海道 当別町

社会福祉法人ゆうゆう

- ・障害者、ひきこもりの状態にある者、認知症高齢者、地域住民等が農業や林業を通して交流

チャレンジ賞

No.21 奈良県 橿原市

一般財団法人かがやきホーム

- ・奈良県が設立した更生支援施設で、刑務所出身者を雇用し、森林組合等で研修を実施

チャレンジ賞

No.24 沖縄県 北中城村

合同会社ソルファコミュニティ

- ・荒廃農地を再生して、障害者が国内で珍しい「ニラ」栽培を実施。地域の中心経営体として位置づけ

チャレンジ賞

